

## **織物文化【きもの産業・イベント】**

十日町（とおかまち）の製織の歴史は 2,000 年前に遡る。近代以前、人々が豪雪のため冬の間家に閉じ込められていたとき、女性は糸を紡いで衣服のための布を織った。地元で織られた越後縮（えちごぢぢみ）と呼ばれるちりめん生地は非常に高品質であったため、徳川幕府（1603～1868）の一族に届けられた。織物産業は今日も繁栄を続けており、その代表者は地元の織物を宣伝するため、毎年多数のイベントを開催している。

### **十日町きものまつり（5月3日）**

十日町きものまつりでは、無料のお茶席や着物フェアなど、市内中心部の通り沿いでさまざまなイベントが開催され、多くの参加者がこの機会に着物を着る。この祭りは成人式と同時に開催される。成人式は1月に開催されるのが伝統だが、十日町では厳しい冬を避けるため春に開催される。着物はまつりの会場でレンタル可能であるが、事前に予約する必要がある。

### **十日町きもの GOTTAKU（5月中旬）**

十日町きもの GOTTAKU は、地元の着物工場の舞台裏を覗くことができるめったにない機会である。5月の数日間、十日町の主要な着物工場の門戸が開かれ、織りや布地の準備、染色、ステンシル、刺繍、メンテナンスなど着物作りに関わるさまざまな工程に職人が携わる姿と、製造の全工程を見学できる。参加には予約が必要である。

### **きものの街のキルト展（5月中旬から5月末）**

きものの街のキルト展では、さまざまな部門別に、最も優れたキルト作品に対してそれぞれ賞が授与される。日本全国からキルト作品を受け付け、その全作品が期間中展示されるほか、日本全国のキルト作家によるキルト作りのデモンストレーションも行われる。